

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

血液学的悪性腫瘍の治療における PICC カテーテルの有用性の検討

2. 研究責任者

豊田厚生病院血液内科 平賀潤二

3. 研究の概要

悪性腫瘍に対する化学療法を行う際、中心静脈カテーテル(CVC)を確保し維持することは非常に重要で、特に血液学的悪性腫瘍に対しての化学療法では治療が長期にわたることが多く、また感染症の合併リスクが高いため中心静脈を確保しておく必要性が高いです。中心静脈は鎖骨下や内頸静脈から確保されますが、長期留置に伴って問題になってくるのがカテーテル由来血流感染症(CRBSI)です。末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)は安全性が高く、CRBSI に対して優れたCVCであるとされており、当院でも日常診療にてCVC、PICC、およびCVポートが頻用されています。本研究はCRBSIを中心としたCVC関連の合併症を、PICCやCVポートと比較することにより、当院におけるCRBSIの現状を後方視的に解析、把握することを目的としました。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

2009年4月1日より2017年3月31日までの期間に、当院で血液学的悪性疾患に対してCVCにより化学療法が行われた患者さん

②研究方法

血液学的悪性腫瘍の治療に際し中心静脈をとった際の、CVC、PICC、およびCVポートそれぞれに関して感染症や血栓症などの問題の発症率を検討します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. お問い合わせ先・相談窓口

豊田厚生病院血液内科 平賀潤二

電話：0565-43-5000（代表）